夏の遊び（1951）

SOMMARLEK

メディア 映画
ジャンル ドラマ　青春
製作国 スウェーデン
色彩 B&W
時間 90分
初公開日 1992/09/26
公開情報 アルバトロス

【解説】

公演の後、楽屋でぼんやりするバレリーナ、マリーに小包で手帳型の日記が届けられた。それを開いた彼女は、思い出に引きずられるように、毎夏を過ごした伯母の別荘の自分専用の小屋を訪れる。そして、初恋の人ヘンリックとの出会いと、“毎日が金の糸に連なった真珠のような輝き”のひと夏を思い起こす。１３年前のことだ。自分が死ぬなどということは考えられず、彼女に関心を持つ伯母の友人エルランドを“おじさん”とはねつけていた頃、ヘンリックとの海辺での抱擁は永遠にも思われていたのに、彼は、彼女にいい所を見せようと崖から海に飛び込んで全身打撲で危篤状態に陥り、彼女とエルランドに看取られて死ぬ。と、すかさず、彼の日記をポケットにしまい込んだエルランドは、マリーを抱き締め求愛するのだった。そして、再び現在。母屋を覗くマリーはそこで待つエルランドに会う。短い会話で、彼と彼女の仲がはかないものに終わったことが観客には判る。彼は復縁を望み、日記を送って呼び寄せたのだが、マリーはそれを拒み、劇場へ帰る。また楽屋の鏡を前にぽつねんと座る彼女がいる。同僚が化粧を落とすのが怖いのかと冷やかし、舞台監督がコッペリアの扮装で現れ、彼女の踊り子としての衰えを容赦なく指摘した上で励ます。そこへ、現在付き合っている新聞記者が現れ、彼と口論しながらも彼女は、自分を理解してくれ、とヘンリックの日記を渡す。晴れ晴れした気持ちで化粧をぬぐった彼女。そして、翌日の出番の前、舞台袖に現れた記者は無言で彼女を抱く。キスするためつま先立ちした彼女はそのまま舞台に出ていく……。

Ｇ・フィッシェルの素晴らしいカメラが捉える北欧の夏の美しさ、レコード・ジャケットの落書きが動き出す恋の喜び。そんな描写の一方で、孫よりも長生きしたいと願うヘンリックの醜悪な祖母が象徴する死のイメージ。ベルイマンが原作も手がけた、初期の傑作の一本だ。

【クレジット】

監督	イングマール・ベルイマン	Ingmar Bergman
製作	アラン・エーケルンド	Allan Ekelund
原案	イングマール・ベルイマン	Ingmar Bergman
脚本	イングマール・ベルイマン	Ingmar Bergman
	ヘルヴェット・グレヴェーニウス	
撮影	グンナール・フィッシェル	Gunnar Fischer
音楽	エリック・ノードグレーン	Eric Nordgren
出演	マイ・ブリット・ニルソン	Maj-Britt Nilsson
	ビルイェル・マルムステーン	Birger Malmsten
	アリフ・シェリーン	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.